

ユビソヤナギ

(学名: *Salix hukaoana* Kimura)
[ヤナギ科ヤナギ属]



ユビソヤナギの雄花序

水辺林に生育する日本固有種の落葉高木です。和名は、群馬県水上町の湯檜曾川で初めて発見されたことに由来します。岩手県・宮城県・福島県・群馬県のごく限られた地域に隔離分布する希少種であり、環境省の絶滅危惧植物のⅡ類（絶滅の危険が増大している種）に指定されています。ユビソヤナギの生存には河川の氾濫により創り出される砂礫堆積地が必要ですが、河川改修などによりその生息地が奪われているのが現状です。只見町では、只見川・伊南川・黒谷川などでの生息が確認され、日本最大級の自生地となっています。

まだ雪の残る頃、真っ先に花序を展開させ、私たちにいち早く春の訪れを教えてください。雄花序の独特な赤黄色の姿が美しい。

特別展示

○只見を再発見！「自然首都・只見」展

只見町の自然・文化・生活を、パネルや実物展示で紹介します。

期間：7月16日(祝・月)まで

※この広報紙は再生紙を使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

豪雨災害による支援

多くの皆様から、お見舞いなどのご支援をいただいております。誠にありがとうございます。いただきました支援金については、災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

支援金 6,413,934円 (57件)
5月7日現在